

## 令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ⑧放課後児童クラブに通う子どもの育成支援

- ◆ 放課後子ども教室や放課後児童クラブで働く職員の高齢化という問題もあるかもしれませんが、子どもが安全に楽しく過ごすことができる空間づくりや危険を回避できる環境づくりが大切だと思います。日常生活の基本的な生活習慣が身につく、楽しく教室に来ることができるいじめのないコミュニティづくりをお手伝いできるよう子どもと一緒に頑張りたいと思いました。
- ◆ 講義を聞き、子どもが見通しをもって主体的に過ごせるように、勉強・おやつ・遊びの区切りを分かりやすく伝えたり、子どもの表情をしっかりと確認し、心身の状態を把握して適切に援助したりすることの大切さを学びました。また、日誌などに記録することを通じて、情報や気付きを職員間で共有したりすることの大切さも改めて実感し、記録するだけでなく振り返る習慣を身に付けていきたいと感じました。
- ◆ 個々の発達段階が異なる児童それぞれが居心地良く過ごせる居場所とするために共通の理解を大切にしたいと思いました。また、児童の主体性・自主性を育てるための意図的な支援が必要であると学びました。そのために地域や学校、保護者との情報共有や連絡、各々の理解と把握が必要不可欠であると感じました。
- ◆ 今回の研修では、実際に放課後児童クラブに勤務する先生の実体験を含めたお話を聞くことで、今まで以上に注意すべき点はどんなことかを理解することができました。その中でも最後にあった「子どもをポジティブに見てみよう」という項目が私の中で印象的でした。子どもの言動をマイナスの視点で見るのではなく、少し見方を変えてプラスに考えるよう心がけ、今後は職場でも職員全体で言動のポジティブ変換を行う機会をつくりたいです。
- ◆ 実例を取り上げての講義がとても分かりやすかったです。子どもが自ら学童に行きたいと思い、通い続けることが大切であることを学びました。また、年齢や発達の状況が異なる子どもたちが一緒に生活する中で、全体・個々に合わせた支援と援助を大事に意識していきたいと思います。保護者との信頼関係を築いていながら、子どもとの関わりを大切にしていきたいと思います。